

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 110 ※記入不要	提案機関名	小田原市		
	農政課			
要望問題				
梅における大玉で早期収穫可能な品種の育成				
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】				
<p><背景> 近年の輸入梅増加に伴い、国内加工業者への流通が減少したことから、青梅の価格が低迷してきている。平成14年より、協議会を設立し早期出荷が可能な、新品種の育種を検討している。</p> <p><内容> 早生系大玉果の収穫を可能にする新品種の育種を行うことは、今後の果樹経営や産地の持続的な発展、振興を図るためには不可欠である。系統選抜、交配育種という高度な技術が必要となるため、技術指導を含めた支援を要望する。</p> <p><対象地域及び規模（面積、数量等）> 小田原市東部地域</p>				
解決希望年限		<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
研究対応区分		<input checked="" type="checkbox"/> ①研究所対応 <input type="checkbox"/> ②委託研究 <input type="checkbox"/> ③共同研究 <input type="checkbox"/> ④その他		
対応を希望する研究機関名		<input checked="" type="checkbox"/> ①農業総合研究所（ <input type="checkbox"/> ②根府川試験場 <input type="checkbox"/> ③三浦試験場 <input type="checkbox"/> ④津久井試験場） <input type="checkbox"/> ⑤畜産研究所 <input type="checkbox"/> ⑥水産総合研究所（ <input type="checkbox"/> ⑦内水面試験場 <input type="checkbox"/> ⑧相模湾試験場） <input type="checkbox"/> ⑨自然環境保全センター		
※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。				
回答機関名		農業総合研究所		
部 署：生産技術部				
対応区分		<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名 （①、②、④の場合）				
(1) 交雑・選抜育種による新品種育成 ア 果樹類の新品種育成 (2) 優良種苗の特性検定試験 ア 果樹品種の特性検定と新品種の地域系統適応性検定試験				
対応の内容等				
①交雑・選抜育種により、早生で結実良好なウメの新品種を育成しております。 ※ 育種目標 青ウメ品種：5月25日頃に2L果が収穫でき、結実が安定し、ヤニ果の発生がない 漬けウメ品種：6月上旬に収穫され、中粒で核重率が低く、梅干しにした場合、皮が破れにくく、肉質、風味に優れたもの ②小田原市ウメ研究会から提供された優良系統から、早生で結実良好な新品種を選抜しています。小田原市内の優良系統5系統（平成13年）、4系統（平成15年）				
解決予定年限		<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考				

